

第76回千代田区陸上競技選手権大会

競技注意事項

参加区分	男子	女子
中学生	1～102	201～294
高校・一般・壮年	401～613	701～755
小学生	801～887	901～939

1 競技規則について

本競技会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則、ならびに本大会要項および競技注意事項(本注意事項)により実施する。

2 競技場の開門および競技者受付について

- (1) 競技者向けの競技場開門時刻は8時10分を予定している(スタンドに上がる階段入口を開放する予定)。
- (2) 競技者受付は競技場正面出入口付近に設置する。
受付開始は8時15分を予定している。
- (3) スタートリストに記載ミス(氏名、学年、所属等)があった場合には、当該競技の開始60分前までに競技者受付に申し出ること。

3 練習場および練習について

- (1) 練習は競技場内で行うことができるが、譲り合いながら、周囲に十分注意して行うこと。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。
- (2) グラウンド内全体を競技区域とし、入場できるのは、ウォーミングアップ時を含め本競技会に参加する競技者のみとする。また、移動時を除き指導者・引率者等の立ち入りを認めない(ただし、小学生の競技者に関してはその限りではない)。
※指導者・引率者等は競技場内のスタンドから助言(指導)を行うこと。
- (3) 9時15分まで、トラック全周を使用して練習を行って構わない。
- (4) 周回レースが行われていない時間帯は、バックストレートを練習用に開放する。
- (5) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行う。
- (6) 練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス(ナンバーカード)、腰ナンバーカードは主催者で用意する。
- (2) 胸と背中に確実に固定すること。(跳躍競技は、胸または背部のどちらか一方でよい)

- (3) トラック競技に出場する競技者は、招集所にて競技者係から腰ナンバー標識(1枚)を受け取り、右腰や後方に着けること。(4×100m リレーは第4走者が付け、4x400m リレーは第1, 2, 3, 4走者が付ける)

5 招集について

- (1) 招集所は100m スタート地点後方左手奥に設置する。

- ① 招集所にて競技者本人がアスリートビブスを提示し、競技者係の点呼受けること。
- ② トラック競技に出場する競技者は、招集所にて競技者係から腰ナンバー標識(1枚)を受け取ること。
- ③ 招集完了時刻を過ぎた場合は当該種目を棄権したものとして処理する。

- (2) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。

- (3) リレーオーダー用紙は、招集所に用意してある。必要事項を記入して、1部を競技者係へ提出すること。

- (4) リレーオーダー用紙の提出締切時刻は競技開始時刻の90分前とする。

- (5) 欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・顧問を通じて、当該競技開始時刻の60分前までに競技者係(招集所：100m スタート地点後方左手奥)に申し出ること。

6 競技方法について

- (1) トラック競技

- ① トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーン順はプログラム記載順どおりとする。
- ③ 不正スタートをした競技者は失格とする。

ただし、小学生の場合のみ、同一競技者が2回の不正スタートをした場合に失格とする。失格した小学生競技者は競技に参加させ、記録は参考記録とする。

- ④ 短距離走・リレーにおいて、中学生以上はスターティングブロックの使用を義務づける。小学生はスターティングブロックの使用は不可。

- ⑤ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。

- ⑥ 4×100m リレーにおける第1, 第2, 第3走者はテークオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまること。

- ⑦ リレーで使用するマーカーは各団体で用意し、レース終了後は必ずはがすこと。

- ⑧ 4×400m リレーのレースが4チーム以内の場合には、第1走者はブレイクライン手前端までレーンを走り、その後オープンレーンとなる。

- ⑧ 800m のスタートはオープンで行う。

(2) フィールド競技

- ① 走幅跳・砲丸投の試技3回までのうち上位8人は、6回の試技が行えるものとする。
- ② 走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりに行う。ただし、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。

種目	練習	最初の高さ
中学 男子	1m30	1m35
中学 女子	1m10	1m15
高校生・一般 男子	1m55	1m60
高校生・一般 女子	1m30	1m35

- ④ 砲丸投の重さは以下とする。

種目	重さ
中学生 男子	5.000kg
中学生 女子	2.721kg
高校生 男子	6.000kg
高校生 女子	4.000kg
一般 男子	7.260kg
一般 女子	4.000kg

(3) 助力

- ① ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ② グラウンド内は全て競技区域とする。したがって、競技中の助言(指導)は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。グラウンド内からの助言(指導)は、審判長による警告(イエローカード)及び除外(レッドカード)の対象とする。

7 用器具について

競技用具は、主催者が用意したものに限る。

8 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm(走高跳は12mm)以内とし、いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 競技用靴に関しては、TR5.2(競技用靴)に準じ、使用された靴に関して審判員が疑義を抱いた場合、競技後に審判長の権限で検査を行うことがある。
- (3) World Athletics(WA)が承認したシューズリストで「No」と記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

9 製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。

10 記録証について

- (1) 記録証は1部200円で発行する(当日現金のみ)。
- (2) 記録証が必要な場合は、表彰係で記録証発行申請書を受け取り、必要事項を記入して表彰係に提出すること。
- (3) 申請の締め切りは競技会終了30分前まで。
- (4) 郵送はしないので、作成された記録証は、当日必ず表彰係で受け取ること。

11 表彰について

- (1) 各種目1位から3位の競技者に賞状・メダルを授与します。ただし、3人以下(3チーム以下)の場合は1位のみを表彰します。
- (2) 正面玄関にて賞状・メダルを受け取ること。

12 その他

- (1) 本大会における映像、記事、記録等のインターネット、マスコミ等への掲載権は主催者に属する。
- (2) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (3) 届けられた遺失物については、総務・総務員で保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。保管期間は競技終了時までとする。
- (4) 荷物は各自で責任もって管理すること。
- (5) 記録はその都度、アナウンスおよび掲示で発表する。
- (6) 写真判定などの妨げになるので、競技場メインスタンド下通路およびホームストレートの通行を禁止する。
- (8) ゴミは競技場に残さないで、各自で必ず家に持ち帰ること。
- (9) 余剰がある場合のみ、競技者受付にて、1冊200円でプログラムの販売を行う(当日現金のみ)。